

## 【YAWATA 150】

－ふるさとは八幡小学校です－

令和4年10月3日（月）

## 八幡小学校の学校名のうつりかわり

今日は、八幡小学校の学校名がどのようにうつりかわってきたかを紹介します。明治6年（1873年）に『仮義校』という名前で学校ができてから、今までの150年の間に、9回も名前が変わっているのです。調べてみると…

- ① 『仮義校』明治6年（1873年）2月  
↓ 8ヶ月後
- ② 『第二中学区第三十二番小學生立学校』明治6年（1873年）10月  
↓ 9年後
- ③ 『第二十一小学区野立学校』明治15年（1882年）  
↓ 5年後
- ④ 『第十学区尋常小学校野立学校』明治20年（1887年）  
↓ 5年後
- ⑤ 『愛知郡八幡小学校』明治25年（1892年）
- ⑥ 『愛知郡八幡尋常高等小学校』明治38年（1905年）
- ⑦ 『名古屋市八幡尋常高等学校』大正10年（1921年）
- ⑧ 『名古屋市八幡国民学校』昭和16年（1941年）  
↓ 6年後
- ⑨ 『名古屋市立八幡小学校』昭和22年（1947年）  
↓  
その後75年、現在に至る ←

校名に「八幡」とついてからは130年が経過

学校名を見てみると、「八幡」の文字が出てくるのは、⑤からですね。それもそのはず、学校の前身『仮義校』ができたのは明治6年の2月（8ヶ月後の10月には名前が変わっていますが）ですが、八幡村ができたのは明治22年なのです。つまり、八幡村ができる前から学校はあったことになります。

そして、八幡村ができてから3年後に、ついに学校名に「八幡」の文字がついたのです。その後は、「尋常」や「国民」という言葉がついているものの、「八幡」の名前は変わらず、現在につながっているのです。

また、大正10年に愛知郡から名古屋市に変わった後、学区は何回か分離して縮小しています。

裏に、少し詳しく学校名と学区のうつりかわりについて表をつくりましたので、そちらもぜひ見てくださいね。